

ストーリー

幼少期の病のため、聴力・視力を失い、話すこともできないヘレン・ケラーと困り果てた家族のもとに、新米の家庭教師アニー・サリバンが訪れる。情熱的に教えようとするも、ヘレンに拒絶され続けるアニーは、周囲と離れふたりきりで生活することを決意する。与えられた時間は2週間。失敗を繰り返しながらお互いを求め、理解し、身体ごとぶつかり合う対話から世界を広げていく2人の出会いを描く「東京演劇集団 風」の代表作です。

バリアフリー演劇は、舞台後方の字幕とライブで役者の動きなどを俳優が説明する音声ガイドに加え、舞台衣装をまとった手話役者が登場人物と連動しながら手話表現を行います。

事前資料貸出し

ご希望の方に事前に上演台本を貸し出します。

作 演出

【出演者】

ヘレン・ケラー
アニー・サリバン
アーサー・ケラー
ケート・ケラー
ジェイムス・ケラー
アナグノス校長
医者
ビニー
パーシー
舞台手話役者
音声ガイドナレーター

松兼 功
浅野 佳成

水流かなこ
渋谷 愛
加来俊一郎
仲村三千代
中村 滋
緒方 一則
坂牧 明
清水菜穂子
亀澤 美未
加藤 裕子
辻 由美子

【ヘレン・ケラー 制作スタッフ】

音楽 小室 等
舞台美術 上田 淳子
照明 坂野 貢也
音響 酒見 篤志
舞台監督 佐田 剛久

舞台説明

サポート内容、舞台装置や広さなどを説明・出演者が役柄や衣装を紹介します

舞台手話通訳

物語の進行に合わせて舞台上を動きながらセリフを手話で表現する舞台手話役者が登場します

バリアフリー字幕・ライブ音声ガイド

舞台中央に日本語字幕を投影／音声ガイドが客席内に流れます



●「出雲の精神保健と精神障がい者の福祉を支援する会ふあっと」のご紹介●

精神障がいがあっても出雲で自分らしく生きていける社会を目指す活動団体です。昭和62年に発足し、精神保健福祉関係者に限らず、多職種の会員が定例会や啓発イベントなどを通じて、地域精神保健福祉の向上のための活動を展開してきました。

定例会では精神医療保健福祉をめぐる法制度の動きや、最近地域で話題になっていること、現場実践の中での悩みなどをテーマに取り上げ、学習や意見交換を行っています。専門性も経験も様々な人が、所属や肩書を外して自由に対等な立場で参加しており、幅広く多角的な視点から、本音で自由に話し合うことができます。

また、例年秋に「えがおまん祭」というお祭りを社会福祉法人ふあっとで開催しています。障がいの有無に関わらず、実行委員会のメンバーで企画から一緒に話し合い、模擬店や物販・展示、講演会など、精神障がいに対する正しい知識や理解を広めていく普及・啓発イベントを開催しています。

交通案内



・一畑電車「出雲大社前」駅より徒歩10分

・お車でのお越しの方は敷地内駐車場をご利用ください。(約140台)

観劇申込について

お申し込みはこちらの申込フォームから→



FAX申込用紙

◆お申込は、FAXでも受け付けております。 ◆下記にご記入の上、FAXにてお申込み下さい。 **FAX 0853-33-9127**

お名前	ふりがな	申込人数	一般 () 名
			障がい者手帳をお持ちの方、高校生 () 名
			介助者、小中学生 () 名
ご住所	TEL		
	FAX		

先行入場(12:45)等を配慮いたします。

障がいの有無、お差し支えなければ種別をご記入ください。() あり ・ なし / 障がいの種別

その他、特に配慮・サポートを必要とする事項などがありましたらご記入ください。